

Go-Ahead ③

<https://toyono-jinjiyko.com/>

令和元年度（2019年度）

子ども主体の授業づくり②

— 授業評価と授業改善 —（中堅教諭等資質向上研修）

初任者との合同研修 コラボ研

テーマ

子ども主体の授業づくり ～子どもの力を引き出す授業～

第3回の10年経験者研修は、大阪教育大学附属池田小・中学校を会場に、初任者と10年経験者がともに学び合う合同研修“コラボ研”を行いました。上記のテーマを柱に、教科・グループごとに10年経験者が進行役を担う中、初任者全員が模擬授業を行い、その後、研究協議をしました。

初任者が緊張せずに授業をしやすくするための声かけや、事前に学んだ「メンタリング」を意識した丁寧なアドバイス等、10年経験者の思いが紡ぎ出された場の中で、コラボ研は活気溢れる充実した研修となりました。初任者からは「グループの先生方の優しく、温かい雰囲気の中で授業をすることができて本当に良かったです。」「10年後にはこれくらい言えるようにならないといけないという目標のようなものを頂きました。」といった振り返りがありました。

《小学校班》

～ 振り返りシートより ～

授業づくりと一緒にするつもりで授業を見させてもらいました。どの発表者の方も目の前の子どもたちのことを考えて教材研究をされていたので感心しました。初任者の授業から私の普段の授業の振り返りを行うことができ、指導する立場ではありますが、勉強させてもらったことも多々あり、コラボ研の良さを感じることができました。いろいろな立場の人と意見を交流することができ、充実した研修となりました。

初任者の先生が熱心に教材研究をされた模擬授業を見せていただき、子どもたちへの優しい声のかけ方、熱い思いが伝わり、大変勉強になりました。授業は経験すればするほど落ち着いてできるようにはなると思いますが、子どもたちに合った活動、分かりやすい授業は経験を重ねても日々、研究だと思っています。子どもたちが変わればアプローチの仕方を変えなければいけないし、常に学ぶ姿勢でいなければいけないと思っています。経験年数にとらわれず、日々、授業について気軽に話ができる職場の環境づくりが大切だと思いました。

1年目らしいフレッシュな笑顔、優しい雰囲気がありつつもスムーズに授業を展開するうまさがあり、模擬授業を見てとても刺激を受けました。市町によって少しずつ流れが違いましたが、大筋で大切にしたいことは同じで、たくさんの意見交換ができました。10年目の先生方の言葉にもハッとさせられることが多々あり、もっと広い視野を持てるようになりたいなと感じました。「教科書」というもののすごさ、使い方も改めて勉強になりましたし、初任者らしいチャレンジも見られて、とても充実した有意義な研修になりました。

《中学校班》

私たちが考えたテーマを取り入れて初任者の方が授業を一生懸命考えてきてくださったことが何よりもこれからの原動力になりました。一つの授業にもっとこだわりを持って準備していかなければならないと改めて感じます。

普段の多忙さから、つつい教材研究を後回しにしがちだったことを改めて反省しました。初任者の先生に刺激を受け、教材を深く読むこと、児童生徒に気づきのある授業を仕掛けること、そのために様々なことを想定して授業を組み立てることの大切さに気づかされました。

初任者の先生方の模擬授業を見て、初心にかえることができ良かったと思いました。安全配慮への意識、学ぶ意欲を引き出す方法について再確認することができました。メンターとしての役割を充分果たせたかどうかはわかりませんが、授業を見る視点、アドバイスの方法、伝え方に留意して取り組むことができました。

初任者への指導・助言を通して、新たな気づきや学びがあったと思います。また、初任者が一生懸命に授業をする姿はこれまでの10年間を振り返り、今の自分自身を見つめ直すいい機会になったのではないのでしょうか。